

一般質問



元気な高齢者



今後の市政運営について

平方 嗣世 議員

新市建設計画と総合計画

質問 合併特例債事業は後年度負担を考慮し、150億円を限度額としている。大型追加事業は新たな負担増、既計画事業との調整はどう行うのか。

市長 光ファイバーの導入等新規事業は、市民の要望を受け、総合計画のローリングを経て着手しています。合併特例債は、これから150億円を限度とします。
質問 答弁がかみ合っていない。限度額が決まっている中、追加事業があれば廃止事業もあるはず。

それらをどう検討したのかを聞いています。再答弁を。

企画部長 総合計画の主要事業や合併特例債事業は、毎年度ヒアリングで財政の状況、今後の見直し等を検討し、見直しています。

人口減少対策

質問 人口減少対策は今後の市政の基礎。税収減、民生費増等多岐に影響が及ぶ。今後の対策についての見解は。

市長 地場産業・地域産業をしっかり守り、後継者をつくる。渋川伊香保・赤城ICを核として企業誘致を図り、雇用を確保します。

質問

今後の市政は教育と福祉が基本。介護、引きこもり防止が目的の独居老人の昼食会に元気な老人が来ているという副市長の発言は、「元気な高齢者には金を使うな」と受け取れる。発言の真意は。
副市長 事業見直しの一例として申し上げた。財源が厳しい中、同様な事業はほかにもあり、優先すべき事業に財源を充てるものです。



2期目の阿久津市政を問う

須田 勝 議員

4年間の実績は

質問 伊香保温泉再生事業で30数億円の事業費を投入したが、これによりどのくらいの数の観光客が増加したのか。

商工観光部長 石段の延伸による観光客数の増加については把握できませんが、観光客数については年々増加傾向にあります。

質問 伊香保温泉の水道料金の大口滞納者に対する対応を聞く。

市長 大口滞納者の対応については、料金徴収業務の中で各滞納者の状況を踏まえた納入相談等を行い、分割入金や分納誓約書の締結等による対応を実施しています。

選挙公約の中味は

質問 アジア諸国から観光客の誘致を促進するとしているが、具体的に、どの国を想定しているのか。

商工観光部長 県がアジア諸国の中でも東アジアに的を絞ったの経済戦略を展開していることから、当市も県と連携して台湾・中国を中心に観光PRを考えています。

質問 伊香保町水沢に建設予定の



大金を投入した石段街

佛光山寺、日本総本山計画は、市として観光客誘致と考えているのか。また市として建設に関与するのか、反対をするのか。
商工観光部長 佛光山法水寺開山準備委員会が組織され、地域住民への周知、協力体制を目的に活動を行っています。市としてはこの活動に関与していません。
市長 寺院建設については地元住民とお寺で十分話し合っており進めてもらいたいと考えています。市としても行政の立場でのチェックはしていきたくないと考えています。

一般質問



公共施設のあり方

中澤 広行 議員

質問 公共施設のあり方では、財政面での裏付けが不可欠である。

健全化を維持していることは承知している。その中で、過去2年間にわたり歳出抑制のため、枠配分方式を導入したのは理解できる。

しかし単なる市民団体等への補助金等10%縮減での提示は、その意義を成していない。平成26年度予算でも既に10%縮減を提示しているとのことである。その内示はすぐに撤回し、各団体等との協議の上、予算を決定することを要求する。

総務部長 事業内容から議論するよう指示しています。内示しているとするれば撤回し、補助団体に丁寧な説明をし、協議・調整します。

質問 普通交付税は合併11年目から段階的に減額され、16年目から純粹に一つの自治体として算定されるが、合併していない自治体は、大幅な減額がない。不公平がある。県内各市長と連携し国に制度の見直しを図るよう求めるべきだが。

市長 全国的組織（仮称）合併算定終了に伴う財政対策協議会へ加入し、影響が出ないよう新たな財政支援策創設を国に要望します。

質問 平成26年度に建設が予定されている（仮称）東部学校給食共同調理場は、建設予算約9億円。平成35年の児童生徒数を考慮すれば、自ずと不必要である。児童生徒数の推移を改めて精査し、計画を見直すべきではないのか。

市長 配送時間の短縮や地産地消の推進がより容易になる。またよりきめ細やかな給食の提供が可能になることから3カ所を進めたい。



人口激減地区対策ほか2件

狩野 保明 議員

質問 市人口減少対策推進方針策定委員会の提言と具体策は、いつ市議会に示し、計画化するのか。

企画部長 庁内調整が整い次第、議会に報告します。時期は平成26年3月定例会を予定しています。

質問 17の小学校区別で、合併時から現在までの人口減少率の高い上位5地区はどこか。

企画部長 減少率が一番高いのは、南雲小学校区、小野上小学校区、上白井小学校区、伊香保小学校区、三原田小学校区の順です。

質問 人口減少率の高い地区（人口激減地区）の活性化対策等は。

企画部長 田舎ん家利用促進事業や県のバックアップ機能協議会等の事業を活用し、空き家対策等を中心に取り組んでいきます。

質問 日本の滝百選「棚下不動の滝」は群馬県の治山、砂防、河川及び県道関連で滝つぼまで施工した。震災の石段復旧も県の治山、砂防事業での要望を。

赤城総合支所長 平成24年度治山

事業では見送られましたが、平成26年度に改めて県へ要望しました。

質問 滝つぼへ行く左岸側の道を県治山事業と協調して整備を。

赤城総合支所長 治山事業が実施される際には、作業道が仮設されるところだと思います。この道が残せるかを県と協議します。

質問 三原田住宅団地の未分譲地見直し杭柵となった。市の今後の対応は。

赤城総合支所長 県企業局の問題が解決後に、市に協議があれば、地元の意向を踏まえ対応します。



棚下不動の落石岩



(仮称)東部学校給食共同調理場予定地